

エントリーシート

学校名

竜ヶ崎第一高等学校

学年

2年

名前

高橋 直生

① どちらの部門に応募しますか？

☐

身の回りの問題解決部門

☒

SDGs 問題解決部門

② どのような問題を解決したいですか？

家庭の事情や未婚、死別等により、一人で過ごすことの多い子供から大人の老人やコロナ禍により生活が厳しくなった人などが気軽に集まって、ごはんを食べれるような環境を作りたい。

③ あなたがこの問題を考えるきっかけになった、具体的なエピソードについて教えてください

小学生の頃、テレビで子ども食堂というものを初めて知り、調べ学習のプレゼンを作る過程で自分の知らない世界の現状を知り、子ども食堂に興味を持った。中学生になってSDGsについての授業で、17つの目標の中から何かを選んで、その目標を目指す架空の会社・お店を作り、プレゼンするというものがあった。自分は2番の飢餓をゼロにを見た瞬間、真っ先に小学生の頃知った子ども食堂が頭に浮かんだ。だがしかし、グループの子と話していて疑問が生まれた。「なんで子供がメインなの？」、「大人は当たり前に来れないの？」と。そこで私たちのグループでは「食で人と人とをつなぐ～みんなで囲む食卓を日常に～」というスローガンの的なを作り、誰もが平等に来やすく、誰かとごはんの時間を過ごせるお店「みんなのおうち」についてプレゼンした。あくまで架空だったが、将来的に実現できるものならしてみたいという気持ちを残しつつ、高校生になり、この企画を先生から知り、またもや架空ではあるが、自分の理想の活動を広めることができるようなサイトを作ってみたいなと思い、応募した。

④ 誰にこの Web サイトを見てほしいですか？

家庭の事情等で、一人でご飯を食べる時間の多い子どもがいるご家庭や、家族がいない、もしくはすでに他界しているなどの理由で一人暮らしの人。そして、活動を支援してくれる方。

⑤ その人達に一番伝えたいメッセージはなんですか？

もし、実現することができたら、たまにでもいいので是非気軽に足を運んで誰かとご飯を食べる時間をつくってほしいです。皆さんの一つひとつの支援が活動を行う大きな力になります。

⑥ この Web サイトを通じて、その人達にどのような変化を起こしたいですか？

Before

一人でご飯を食べていた(→コミュなし)

支援ってなかなか難しいよなあ。



After

誰かとご飯を食べる(→コミュあり)

私・私達でも誰かの力になれるかも!?

⑦ 上記の変化を起こすために、こだわった点や工夫した点はどこですか？

例えば、まず複数言語対応の部分。最近ではよくニュースになっているように多くの外国人の方が、少ない労働賃金で働きながらも日本に住んでくれているという現状がある。そこで、外国人の方も言語の壁をなくし、少しでも来やすくなればいいなと思い、日・英・中・越・韓の5言語対応のサイトにした。また、支援をしていただく人のためにも、できるだけ詳しくわかりやすいサイトになるようにした。他には、まだこの活動を知らない人などのために写真を載せるページやチャリティー等のイベント紹介ページを作り、どんな雰囲気なのかをつかみやすくしたり、興味を持ってもらう機会を作り、少しでも来てもらいやすくした。